

郷土資料館収蔵品紹介

65

『桑切包丁』

昭和三十年代まで坂祝でも盛んに行われていた養蚕の道具です。

蚕は繭をつくるまで、ふつう四回の脱皮を繰り返して成長します。卵から生まれたばかりの蚕は「毛蚕」と呼ばれ、体長が一〜二ミリと小さく、えさはやわらかい桑の葉を細かく刻んで与える必要がありました。そのため道具が、薄歯で大型（約四十センチ）の桑切包丁です。

桑の葉は一日に何度も与えなくてはならないので、農家では早朝から夜まで桑畑と家を往復して新鮮なたくさん桑の葉をつみ、蚕のえさにしました。桑の葉は、蚕の成長に応じた大きさに刻みますが、繭をつくる頃には枝についたままの葉が与えられるようになります。

養蚕の規模が大きくなり、桑の葉を刻む桑切機が使われるようになると、桑切包丁は餅やそば、うどんを切るのに利用されるようになりました。



郷土資料館（JAめぐみの坂祝支店3階）の次の開放日は、令和元年10月11日（金）（午後1時～午後3時）です。ぜひご覧ください。

広報文芸

町民俳句文化協会さかはふり俳句会

昏れてなほ狭庭灯せり百日紅
改元に昭和も遠く敗戦日
忘れぬ覚悟の出発敗戦日
停留所色づくゆすら赤増して
一分間正午の黙禱終戦日
一輪の雨にぬれ咲く夏水仙
帰らぬ子悲しみ新らた終戦日
大樹より手裏剣のごと初燕
風青し夫婦かよひしデイケアー
終戦日動きわすれし雲ふたつ
グローブを腋に冷し茶一気飲み

岡本 憲子
岡本 憲子
田口 孝和
田口 孝和
長瀬 静子
長瀬 静子
安藤 文子
安藤 文子
下手喜美代
兼松 禎子
兼松 禎子

毎月
第三火曜日
18:00
～
18:20



坂祝町の旬な情報をまるごとお届け!

さかほぎなう! パーソナリティ:小栗かおる

次回ゲストは、坂祝町役場 教育委員会 田中大樹さんです。お楽しみに!

iPhoneはこちら



Androidはこちら



スマートフォンでもFMららを聴くことができます。FMららアプリの無料ダウンロードはこちら。

田口健二様(酒倉)	亀山可一様(取組)	小島學様(勝山)	森や糸子様(取組)
75歳	90歳	86歳	97歳

10月のゴミ収集情報

もえるごみ収集日は、月・金曜日です。

※資源物収集日には、収集ボランティア「コスモス」がペットボトルキャップを回収しますので、ご協力ください。
※ごみの出し方については、正しく分別し、決められた日時に、集積所へ出してください。

不燃ごみ等収集日 22日(火)

缶・ビン(食品用・飲料用)を分けて「資源袋」に。金物・ガラスくずを分けて「もえないごみ収集袋」に。袋に入らない規定の大きさまでのごみは「粗大ごみシール」を貼って出してください。

資源物収集日 13日(日)

時間 午前8時から午前10時
場所 町内各自治会公民館
収集物 ペットボトル、食品トレイ、蛍光灯、水銀式体温計、紙パック、廃食用油、乾電池